

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年10月19日
タイトル	給食米を収穫したよ！part2
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年10月5日（月）福山市立東村小学校全児童46名と福山市立東村保育所児童19名が、福山市東村町のほ場で農業体験をしました。

Part1に続いて、東村小学校の子ども達から稲刈り体験を通じて感想文が寄せられましたので、part2をレポートします。

— 子ども達の感想文 —

いねかり 3年 高橋寿成

今日、2、3、4時間目に、全校でいねかりがありました。

まず、4、5、6年生がかまでいねかりをしました。

ぼくは、「来年やるんかー。すごくおもしろそう。」と思いました。

その間に、ぼくたちは、いねについているお米を取りました。

「いねから、1個1個お米をとるには、すごく時間がかかる。」ということがわかりました。

次に、いねをほしました。やり方は、たばになっているいねを半分にわけるようにして竹のぼうにかけます。

ぼくは、人にわたすのと、自分でかけるのをしました。

いねのたばをもっているとき、はだにあたって、「いねは、かゆいんだ。」ということがわかりました。

おひるは、きゅうしょくの先生がにぎってくれたおむすびです。

あまりにもおいしそうだったので、4つ半も食べました。

来年が楽しみです。高学年をみならってきれいにいねかりができるようになりたいです。

いねかり 3年 和田奈穂

今日はいねかり。家を出るとき、はりきって学校に行きました。私は初めてなんです。

まず、お話を聞いて、きけんなことや道具の使い方を教えてもらいました。

次に、4年生から6年生がかりました。こしがいたそうだと思いました。

それから、私たちは、落ちているいねの穂を拾い、お米を取りました。

さいごに、いねを2つに分けるようにして竹にかけました。

お昼は、田んぼのそばでおにぎりを食べました。おいしかったです。



昔ながらの脱穀を体験！脱穀した粒を箕(み)に入れ、ちりをふってわけるところを実演してくださいました。

いねかり 4年 亀田凌雅

今日、いねかりをしました。

手でかるのは初めてだったので、ちょっとむずかしかったです。

ぼくと颯大君はいねかりの競争をしました。

颯大君は自分ちのおじいちゃんとかったことがあるので、ぼくは負けました。

その後、競争をやめていっしょにかっていきました。

さいごは、かったいねを渡す係でした。たのしかったです。



いねかり なかよし1年 たおしゅんた

いねのほをてもぎとるのがたのしかったです。

はぜかけもしました。かるかったです。

おむすびを3つもたべました。おいしかったです。おつけものもおかわりしました。

いねかり なかよし3年 祖福和輝

いねのほをもぎとりました。はぜかけをしました。

土が柔らかかったのでサンダルがよございました。

おにぎりを3つも食べました。

たのしかったです。



どろんこ稻刈り 5年 西田晴菜

今年で4年目、4回もどろんこになるのはいやだな。最初はそう思ったけど、やっぱり楽しかったね。

まず、お話を聞かないと。児童会副会長の高橋来幸さんのあいさつは、しっかりしていてすごくよかったです。私もがんばろう。

次に、ちょっといやな稻刈り。どろがついたり、かまで手を切ったりするかもしれない。でも大丈夫。4年目なんだから。教頭先生に刈るこつを教えてもらい集中していたら、ちょっと楽しいかも。途中で、いねを刈ろうと近づいたら、葉が目に入ってすごく痛い。入った左目は、すごく涙が出ていた。赤くなってかゆくて、頭が回らない。近くにおられた教頭先生に言って、少しは心も目もおさまった。半分よりちょっと少ないけどよく刈れたね。

最後は、おにぎり弁当。大きくておいしくて、幸せだった。つけものだっておかわりをした。今年はすごくよくて、すごく楽しかった。若草会のみなさん、ありがとうございました。

来年は最後だから、もっといい稻刈りをしたいね。



子ども達は、みんなハキハキと挨拶し元気一杯です。

当日は、テレビ局や新聞社の取材があり、テレビカメラや記者の方の取材に少しばかりかんだ様子でしたが、しっかりと受け答えしていました。

稻刈り 5年 福田美咲

ギコギコザクッ ザクッザクッ

今年も学校農園での稻刈り体験学習をしました。

かまを右手に持ち、稻を左手に持ち、稻刈りスタート。

4か月前、手のひらぐらいだった稻がものすごく大きくなっていました。

稻を刈るのが楽しくなってきました。やめられない、止まらない稻刈り。

私の家は田んぼをしていないので、こういう学習があるのはすごくうれしいし、毎年ワクワクしています。

来年は最後の稻刈りとなります。今年よりも上手くやっていきたいです。



稻刈り 5年 杉原美名瀬

稻を刈るのはこれで2年目になります。今までザクザクザクと3回以上すると、ザクッとひとたば刈れます。この感触は忘れられません。

インタビューされました。感想を聞かれました。「これで2年目です。何度もやっても感触が楽しいです。」と言いました。記者のお兄さんのすごいところは何年生かと、誕生日を教えてあげると、わずか1秒ほどで「11歳ね」と言っていたところです。

次に、はぜかけをしました。福本君や高橋さんなどに、稻のたばをたくさん渡されました。田んぼから上がろうとすると、高橋さんがどぶにはまっていました。

「長ぐつがー。」と、どぶにはまった長ぐつをひっぱっていました。

おにぎり弁当はおいしかったです。大きなおにぎりでした。



稻刈りの後で、みんなで食べるおにぎりは最高だね！給食の先生が大きなおにぎりをにぎってくださいました。おかわりも沢山あって、みんな何個もおにぎりを食べました！

田んぼでワッショイ 6年 高橋来幸

私は稻刈りが好きになりました。今日の稻刈りでコツがわかったし、ていねいさとスピードを兼ね備えた稻刈りができました。私は普段、虫が大の苦手なんだけど、キャーキャー言わずに作業ができました。

あいさつちゃんと言えだし、その後、人にほめられたのでうれしかったです。

テレビ局の人に入erviewされたときはちょっと緊張して、うまく受けたえができませんでした。

うれしいことも、ショックなこともいろいろあったけれども、6年間最後の稻刈りは楽しかったです。

上手になった稻刈り 6年 石井幹永

今年は雨が多く、冷夏だったため、まだ収穫できるほどには実っていなかったそうです。

稻を刈るときは、稻を持ってかまを自分の方に引くと刈りやすいと教わりました。やってみると、1回で刈る

ことができました。昨年は、3回、4回もしないと刈れなかつたので上手になったと思いました。

昼食に、今年とれたばかりの新米を食べました。昨年よりもおいしくなったような気がしました。ぜひ召し上がってみてください。

稻刈りをして 6年 坂本佳月

小学校生活最後の稻刈りをして、思ったことが3つあります。

1つ目は「あっ、この感じ、久しぶりだな。」と思ったことです。久しぶりに鎌を握ったからだと思います。

2つ目は鎌で稻を切るときです。「スパツ」とても気持ちよかったです。

3つめは、今までお世話をしてくださった若草会の皆様に、「ありがとうございました。」です。

早く新米を食べたいな～と思います。

感想文には、子ども達の農業体験に対する素直な気持ちが生きいきと書かれていました。農業体験が多方面に影響を与え、子ども達の心も体も豊かに成長していると実感しました。

水土里ネット福山では、これからも農業体験を通じて子ども達の眼差しを届けたいと思います。